

市議会だより

おおまち



200号

令和7年11月1日発行

9月定例会号

特集 |

令和6年度決算額

300億円余の使い方を審査 2～5ページ

議員定数等検討特別委員会を設置しました 4ページ

委員会審査報告 12ページ 意見交換会報告 13ページ 議員活動にかける思い 16ページ



議会だよりライブラリーで
過去の議会だよりも見ることができます



表紙写真 | 蓮華岳頂上

市民と観光客が朝焼けを眺める。
眼下には大町市が広がる。

画像提供者：中村編集委員

●表紙の写真を募集します！

特集 決算から課題を見える化！

検証から
提案へ

9月定例会は「決算議会」とも言われ、特別委員会を設置し、前年度の決算審査を行います。決算の検証経過と、次年度に向けた課題を探りました。

まちづくり

駅前拠点施設は生かされているか

信濃大町駅直近にあるまちづくり協議会所有の施設利活用の状況について

委員会審査

問 観光向け等の物産品販売など立地を生かした拠点利用の考え方はできないか。

答 駅前の一等地であることから施設の利活用として検討の余地がある。観光文化課の事業と合わせて、観光客に大町の特産品のPRや駅前の賑わい創出にどう生かすかを考えたい。

提言

大町の特産品やおおまぴょんグッズなど、一等地の地の利を生かした利活用を検討されたい。



信濃大町駅前施設の様子

「ひとが輝くまちづくり事業補助金」の市民の関心度は

伝統文化の継承やまちづくり事業等を行う団体への支援事業

委員会審査

問 公開審査の時に関係者以外の市民が来場し、事業の内容などに関心を寄せているのか。その実態はどうか。

答 残念ながら関係者以外の市民の来場者の実態はほとんどない。事業への関心度が向上するようきちんと総括を行いたい。

提言

市民団体がどのようにまちづくりに関わっているのか総括し、まちづくりと市民の関りや成果をしっかりと市民に周知する方法も含め検討されたい。



ひとが輝くまちづくり事業補助金R7公開審査会

令和6年度決算を認定！

一般会計	歳入	191億円余	特別・企業会計	歳入	119億円余
	歳出	186億円余		歳出	125億円余

令和6年度決算は、大型事業が重なり、資金の取り崩しや市債の増加で将来世代の負担増が心配されたが、計画的に基金や市債を活用しつつ、健全財政を維持していることは評価される。

環境

太陽光設備、厳正なる措置を

太陽光発電設備の適正な導入を促す

委員会審査

問 悪質な事業者が太陽光発電設備の設置を進め*FIT制度などを悪用し、なかなか市の勧告に従わない場合、改善命令などの措置を行うことも考えているか。

答 勧告に従わない場合には改善命令、さらに5万円以下の過料を課す罰則も条例で定められており、今後そのような事例があれば条例に基づき適切に対処する。

※用語解説 ※再生可能エネルギーの固定価格買取制度

提言

太陽光発電設備の設置管理等に関する条例について、市の勧告に従わない業者がいた場合は、改善命令など、条例に基づき必要な措置に努められたい。

松くい虫被害対策

森林環境譲与税で地域の森林整備を行う事業のうちの一つである松枯対策事業

委員会審査

問 松くい虫の被害状況に対し実際の松くい虫防除対策の費用は足りているのか。

答 補助金が十分に交付されない状況にあるが、引き続き必要な補助申請を行い、効果の上がる松くい虫被害の対策事業に努めたい。

提言

被害の更なる拡大を防ぐには集中的に事業を行うことが有効。新年度にもしっかりと予算を要求し効果的な事業を進められたい。

施設

国スポ施設、将来的利用も検討を

令和10年に長野県そして大町市で開催される「国スポ」の施設整備等に関する事業

委員会審査

問 市内で開催されるリード競技・ボルダー競技の施設整備について常設か仮設かを決めることになる。維持管理費や大会終了後の価値的な利用も考慮した検討を。

答 現段階で、常設で建てる場合と仮設で建てる場合を比較した見積もりを業者に依頼している。また設置方法自体も種々検討している。

提言

国民スポーツ大会のリード競技及びボルダー競技の施設について、将来的な活用方法や維持管理費も考慮し、十分に検討されたい。



大町市運動公園サッカー場

令和6年度 事務事業評価

決算審査と合わせ、昨年度の事務事業について、特に検証が必要と考える9事業をピックアップし、「拡充」「現状のまま継続」「改善のうえ継続」「見直し」の4項目に分類評価しました。評価にあたっての議論や意見の主なものは下記のとおりです。

■第1分科会審査

1 芸術文化振興事業

北アルプス国際芸術祭など芸術文化の振興と発展のための事業

市民参加を増やす取組や運営方法等の見直しを含め、課題となる展示方法の検討や財源確保強化への取組などを求める。

【評価結果】⇒ 改善のうえ継続

2 定住促進事業

移住者を呼びみつ大町市民の定住を含めた定住を目的とした事業

数値目標を掲げ移住者が定着できる施策と若い市民が大町市を定住の地として選択できる魅力を、官民連携においてスピード感をもった施策とすることが求められる。

【評価結果】⇒ 改善のうえ継続

3 中心市街地活性化事業

衰退している中心商店街の活性化と賑わいを創生する事業

中心市街地の価値を精査し信濃大町100人衆会議・商工団体等の意見を聞く中で発想の転換や民間主導とする取組を促しつつ明確な成果となる事業への改善を求める。

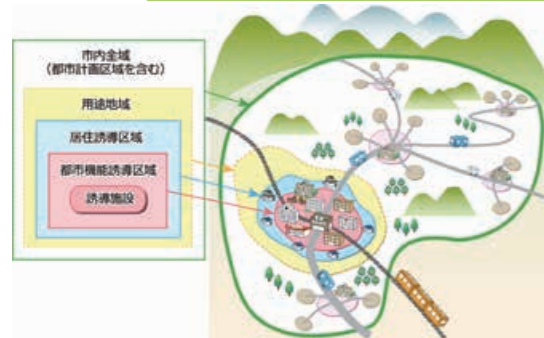
【評価結果】⇒ 改善のうえ継続

4 コンパクトシティ形成事業

20年後の大町市を見据えた都市計画やまちづくりを検討する事業

事業の成果が見えにくい。市民に分かりやすく計画を示し、事業への理解や合意形成を求めつつ、20年後の将来像を見据えた事業となるよう改善されたい。

【評価結果】⇒ 改善のうえ継続



5 ゼロカーボン住宅推進リフォーム支援事業

【評価結果】⇒ 改善のうえ継続

■第2分科会審査

1 市社会福祉協議会助成事業

市社会福祉協議会の組織体制の充実と事業運営の強化を図る

市社会福祉協議会の経営状態のチェックに努めるとともに、会費収入は減少傾向にあるため、会員確保に向け社会福祉協議会の重要性の周知を求める。

【評価結果】⇒ 改善のうえ継続

2 保育所管理運営事業

小学校入学前の児童の保育を行うことで健全な心身の発達を図る

待機児童が出ないよう市営・民営の保育施設の利用調整を図るとともに、保育環境の充実に向け保育所等のあり方検討委員会において検討を進められたい。また、保育士の確保に向け保育士の待遇改善を求める。

【評価結果】⇒ 改善のうえ継続

3 スポーツ振興事業

スポーツ活動の充実と、仲間作り・コミュニティの活性化を図る

市民のニーズに合ったスポーツ教室メニューの充実、スポーツ協会との密な連携によるスポーツ振興、また指導者育成のための補助金の見直し・充実を求める。

【評価結果】⇒ 改善のうえ継続

4 山岳博物館調査研究事業

研究機関と連携し北アルプス地域の自然・文化の調査研究を行う

調査研究の成果を来館者の増に生かすとともに観光資源としても生かされたい。また市民や子ども達が自然・人文科学に触れる機会を増やすとともに、学芸員・専門員が本来の職務に専念できるよう事務職員の増を求める。

【評価結果】⇒ 改善のうえ継続

令和6年度決算審査特別委員会報告

福祉

「あゆみ園」の環境改善を

母子通園施設において、障がいのある就学前の児童に基本動作の訓練等を提供する事業

委員会審査

問 母子通園施設のあゆみ園の老朽化が進んでいる。また、利用者が非常に増えており、利用する子ども達や保護者、職員も手狭に感じているのではないか。

答 以前に比べて利用者は増えてきており、現在の施設は狭く感じられているものとする。施設の老朽化も進んでおり、見直しが必要と認識している。

提言 あゆみ園の施設が老朽化している。施設も狭く、利用者も増加していることから、環境改善について検討されたい。

くらし

ケーブルテレビ、より良い番組制作を

番組審議会で番組内容等を審議し、より良い番組作りを目指すための事業

委員会審査

問 番組審議会の開催状況や審議会での意見はどのようなものであったか。また、年1回の開催で十分なのか。

答 学校行事や子供達の様子を伝える番組や特別番組などへ好評を頂いている。審議会の回数は大手のテレビ局等も年1回となっており妥当ではないかと感じる。

提言 厳しい意見を聞ける機会も設け、審議内容を番組編成に生かし、優れた情報発信を行えるよう更なる番組内容向上に努められたい。

議員定数等検討特別委員会を設置

特別委員会は、必要に応じて特定の案件を審査するため本会議の議決により、臨時に設置される委員会です。その事件の審査が終了すれば委員会は消滅します。

地方議会では人口減少が進む中、「議員のなり手不足」等、課題が多くなってきています。この特別委員会では定数や報酬等の調査結果を住民の皆様にし、理解を得ることを目指します。

議員定数等検討特別委員会



太田委員長

委員長 太田 昭司
一本木秀章
二條 孝夫

副委員長 宮田 一男
中牧 盛登
大和 幸久



宮田副委員長

令和6年度の事業と財政状況は



政友クラブ 西澤 和保

Q 令和6年度は学校再編事業や北アルプス芸術祭等も行われたが、各事業の成果は。

A 新小学校の建設費等、公共事業には過疎債等を効果的に用い財政負担の影響を抑え、3回目となった北アルプス芸術祭は来場者数18万人と経済波及効果は6億8千万円となり、魅力ある大町を発信する事業となっている。

Q 決算から見る大町市の財政状況はどのようなものであったか。

A 収支としては黒字だが学校再編等の施設維持・改修事業もあり、財政調整基金への繰越金は減少。自主財源の確保に向け努力が必要。

Q 今後の施策や事業の方向性は。

A 第5次総合計画の実現のため、

人口減少や結婚・子育て支援・定住策・インフラ事業等を適切に進め持続可能な地域社会に向けた実施計画を策定して行きたい。

大町病院の収支と課題は

Q 病院事業の検証と課題は。

A 人事院勧告による賃金引き上げが赤字決算の主たる要因。外来・入院患者数は増加している。自治体病院の9割が赤字であり診療報酬の改善等を国に求めつつ、近隣病院間での機能や役割分担等の協議を行いつつ経営改善にも努めたい。



大町市は病院運営と行政運営の両面で健全な運営が求められる

どうする4校舎跡地利用



市民クラブ 中牧 盛登

Q 市は、閉校から10年になる旧北高校跡地利用について、いつまで何をすべきと考えているのか。

A 令和10年度に開催される国民スポーツ大会が閉会する頃までには、跡地利用の方向性を決定したい。

Q 当市にとって旧北高校跡地が重要な役割を担う場と考えているならば、日本初、長野県初となるような事業を考えてみてはどうか。

A 市だけで考えることは難しいので、民間提案を含めてより効果的なものを考えていきたい。

Q 令和8年4月に廃校となる3小学校の跡地利用はどのように進めて行くのか。

A 10月までに小学校等跡地利用検討委員会を立ち上げる。

Q この検討委員会が出す結論

はいつになるのか。

A まずは、行政財産としての活用を検討し、結論は令和12年度を目指して取り組む。

市民バスは改善できるか

Q 市民バスの利用対象者が45%住んでいる中心市街地周辺に、デマンド運行を1年間試行的に運行する考えはないか。

A 公共交通計画に明記したとおり、市民バスふれあい号全体の見直しを行う中で、デマンド運行エリアを広げることも検討したい。



どう活かせるか北高跡地

熊による死亡事件市の対応に疑問



無所属クラブ 高橋 正

Q この春、八坂地区で発生した熊による市民の死亡事故について、市の対応に問題は無かったか。人が亡くなるという重大事件であるにもかかわらず、即、銃で対応せず、檻を仕掛けただけ。今でも八坂地区住民の恐怖は消えていないと思う。事故後直ちに銃による毅然とした対応を取るべきだったと思うがどうか。

A 事故発生後、現場確認のため担当職員が現地へ急行した。現場周辺では、加害個体を含む熊の存在を確認できなかった。捕獲許可権者である県に相談し捕獲許可を得て、ドラム缶の檻を設置した。

Q 北海道ではヒグマによる死亡事故がいくつか発生したが、その全てで猟友会員を緊急に動員。二日後には速やかに銃による駆除を実行し

た。捕獲後、DNA検査で加害個体と確認している。私は北海道のやり方は緊急措置として正しい対応だったと思う。北海道の対応に比べて、市の対応には問題があったと思うがどうか。



市は熊対策を厳しくせよ

「虹の家」存続は市民の願い



日本共産党大町市議 宮田 一男

虹の家存続署名3500

Q 運営を受託している大町病院事業管理者の考え方は。

A 存続を切に希望する。住民の意見を聞きながら、利用者に不利益が生じないように、広域連合の適切な判断を求める。大町病院としても利用者に寄り添い協力する。

Q 大町市は、存続を求める市民の声にどうこたえるか。

A 広域連合議会では、虹の家存続を求める陳情が賛成多数で採択された。存続について多面的な視点から検討を進めて行く。

公共施設等の暑さ対策を

Q 美麻総合福祉センターでは、ホールに常備のエアコンが未設置のため、猛暑のなか熱中症の危険が増



エアコン設置を望む美麻総合福祉センター「梨嶺」

している。次年度予算で設置を。
A 早急な対応が必要であり、令和8年度に前倒して設置できるように、関係課と協議していく。

有害獣対策は緊急課題

Q サル対策はICT等を使い、担当職員の努力で個体調整は進んでいるが、シカやイノシシが増加し被害が広がっている。新技術(アプリ)を使つての対策はできないか。

A アプリは、サル対応で使用しているが本格導入に向けて検討する。



二次元バーコードから動画が見られます。



次ページも、一般質問

「虹の家」は高齢社会の希望だ



堀 堅一

Q 広域連合が虹の家を廃止するなら、市の指定管理施設としてでも残すべきだ。市長は施設の存続について結果責任を問われる重大な問題だ。

A 市としては、ただ維持するだけの議論を超えて大町病院に併設されている特性を最大限生かすことができるか、もし可能であれば、医療と介護の連携にとどまることなく、検討すべき課題であると考えている。広域連合での協議を進める中で、この地域に住む高齢者が安心して住み続けられるように、医療と介護が密接に連携した新たなモデルについても、並行して検討を進め関係者と知恵を出し合い、市民のみなさまの安心を守るための最善の道を模索していく。

結婚祝金は平等に配布を

Q 市内に定住する50歳未満の新婚世帯を対象に商品券を3万円贈呈しているが50歳未満だけに限定した意図は何か。例えば70歳でも愛し合つての結婚なのだからすべての結婚を祝福して差し上げるべきだ。

A 議員の指摘されたとおり、本来祝福されるべき結婚に対して年齢制限を設けることについては、結婚に対するあり方や結婚観の変化など様々な観点から検討すべき課題だと認識している。見直しを検討する。



市長もすぐに後期高齢者になる。誰もが通る道は守るべきだ

子どもたちに負の遺産を残さない



無所属クラブ 植松 悠一郎

公共施設の老朽化は莫大な将来負担である

Q 資産800億円に対して、減価償却額が600億円。市の所有する資産の80%がすでに耐用年数を超えている計算になる。更新の先送り状態にあるが、どう考えるのか。

A 計画に基づいて、計画的に進めている。

Q 一般会計内での資産を維持する上で、毎年いくら必要になるのか。

A これまでは毎年15億円程度、今後も同程度必要になると考える。

Q それは市として準備できる金額の話。実際に必要になる具体的な金額はいくらになるか。

A インフラ等を含めた金額は把握していない。

Q いつ、いくら必要になるのか

市長は官製談合事件の真相究明を



無所属クラブ 大和 幸久

Q 昨年8月、市の図書館と屋内運動場のLED化工事の談合事件の初公判があり、市職員と事業者は起訴内容を認め即日結審した。市長はどのように受け止めているか。

A 市政の信頼を大きく損ね、深くお詫びする。談合は競争原理が機能せず、最小の支出で最大の効果を求める地方自治の原理に反する。

Q 官製談合は、高い落札額となり、市民の税金の無駄使いになる。

A 談合が確定したわけではなく、高い落札率でもない。

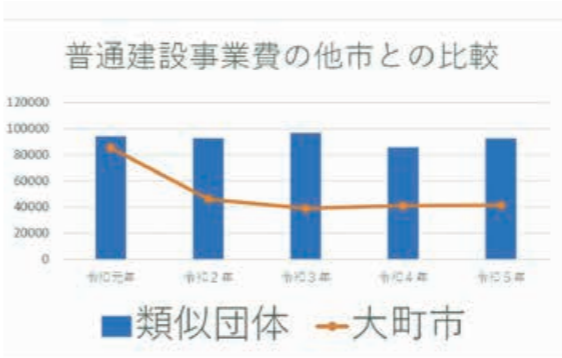
Q 起訴された元社長は「3年前から業者間の談合が続いている」「予定価格を市職員から聞き出していた」「今回は5社ほどで談合し、仕切り役が存在した」とあかした。これが事実なら、大町市と大町の財界

わからない状態で資金ショートする可能性は無いのか。

A そうならないために計画的に実施している。

Q その計画自体に具体的な金額が記載されていない。更新に必要な額、準備できる額、足りない分は除却や譲渡、これらを計画して具体的な金額を明記する必要がある。

A それを明確にすることは非常に重要。すぐには難しいが、次期計画で方向性を示せるよう工夫したい。



これまで施設更新にかけた費用は、他と比べ大幅に少ない

には根深い癒着の構造が、今も続いていることになる。

A 知らなかった情報だ。根拠不明で、確定しておらず、調査する。

委員全員市の利害関係者

Q 市長が設置した、官製談合防止等対策委員会は10人全員が大町市の利害関係者だ。市民からは「これでは、最初から、市政と市財界の癒着の構造の真相究明ではなく、その体制の隠蔽や温存を図るためのものだ」という厳しい批判がある

A 業者にはアンケート調査をお願いする。犯人探しではない。



市民は、官製談合事件を二度と繰り返させない真相究明を求めている

観光地、仁科三湖に注目



市民クラブ 小澤 悟

Q 観光地仁科三湖にどのようにして人を集め、持続可能な観光地にするのか。

A 情報発信の充実、関係団体や地元観光事業者の要望を聞き連携をはかり、各役割を明確にし、持続可能な観光地にする。

Q 観光客の入込数は。

A 令和5年度は16万3000人である。

本年度は7月時点で11万7000人と前年同期比で約12%増加している。

Q 信濃大町ナビで、観光地別で検索アクセス数が多い所は。

A 1位信濃大町、2位青木湖、3位木崎湖、19位中綱湖である。

Q 当市の観光が黒部ダムに依存しているように見えるが、他の観光地にも力を入れるべきでは。



整備された木崎湖市営「17棧橋」までの道

支援要する子どもに十分な支援を



おたち 太田 昭司

Q 大町市でも、ぜひ※1「ヤングケアラー」の実態調査を。

A 現在、実態調査の実施に向け準備を進めている。教育委員会と連携し実態の把握に努める。

Q ※2「フリースクール」を利用する不登校の子どもたちへの補助制度の導入の検討を。

A 教育機会均等の観点からも、フリースクール利用者の増加や近隣市町村の状況を踏まえ検討する。

障がい者の支援について

Q 障がい者を介護する「家族への支援」は十分足りているか。

A 障がい者と家族が抱える課題は複雑多岐に亘り、支援は十分行き届いているとは言えない。今後も親身にお話を伺う相談体制、他の障が

い福祉サービスや支援制度を組み合わせ、ご家族の負担軽減に努める。

Q 精神障がい者の支援における課題についてお聞きする。

A 令和6年度末現在、市内には440人の精神障害者保健福祉手帳の保持者があり年々増加している。精神疾患の特性として、わずかな環境変化により病状が大きく変わり、これに対応した適切な医療支援と医療・福祉の連携が必要。また地域での見守り機能やサービスの柔軟な利用、居住の場の確保、そして意思決定の支援のあり方が課題となる。



日常的に家族の世話や介護を行っている子どもたちの支援を

※1 用語解説

- ※1 ヤングケアラー：家族の介護や他の日常生活上の世話を過度に行っていると認められる子ども・若者。
※2 フリースクール：不登校の子どもに対し、学習活動、教育相談、体験活動などを行っている民間の施設。

選択と集中で総合計画を達成せよ



やまもと 政友クラブ 山本 みゆき

Q 令和8年度までとなった第5次総合計画の進捗と総仕上げの時期となった今、取り組むべきは何か。

A 令和6年度における施策評価では、全359施策のうち「順調」と評価した施策が18・1%で、これに「おおむね順調」も合わせると全体の93・6%の施策が計画どおりに実施されている。また今後の取組みとして学校再編により廃校となる小学校の跡地利用の活用は将来の市の発展に資するよう研究、検討を進める。

Q 市は人口規模が縮小しても経済成長し、社会を機能させる適応策を講じるとしているが具体的に何か。

A デジタル技術の活用により効率的に暮らせる社会システムの構築

や、水をはじめとする地域資源を活かす観光や、食等の高付加価値化、移住促進、芸術祭を軸とした関係人口の増加を図り、人材の不足を補う。

Q 限られた財源や人材で目指す将来像を達成するためには選択と集中による重点施策を定め、着実な成果につながるとしているが、具体的な財源、人材の状況、将来像を達成する選択と集中とはどのようなものか。

A 財源確保においては過疎計画や辺地計画等の策定による有利な起債の活用と企業版ふるさと納税の活用、市の規模に合わせた事業や施設数への規模のスリム化、人材確保においては民間活力の導入に取り組む。



平成29年度から令和8年度を計画期間とする大町市第5次総合計画

児童クラブの現状はどんなのか



くろばやし 日本共産党大町市議員 栗林 陽一

Q 児童クラブで児童の人数に対して面積の基準を満たしているか。

A 現在の児童クラブ6カ所は全ての施設で基準を満たしている。

Q 学校再編後の職員の人数はどうなるのか。

A これから調整していく。

Q 児童クラブのエアコンの設置状況はどうなっているか。

A 学習室についてはエアコンが設置されている。プレイルーム、体育館は現在設置されていない。

Q 体育館へのエアコンの設置は今後どうなるのか。

A 教育委員会の学習施設計画等と合わせて今後検討していく。

Q 市民バスのバス停にベンチ等の設置はできないか。

A 道路敷にあるバス停には設置

が困難。公民館等にあるバス停には自治会の協力があれば可能だ。

Q バスの路線を分割し移動時間の短縮ができないか。

A 路線の見直しと再構築で対応していく。

Q 市内に※3オストメイト対応トイレは何カ所あるか。

A 市所有の施設に3カ所、公衆トイレ、民間施設に9カ所ある。

Q 対応トイレを検索サイトに登録はしないのか。

A 民生部とも連携し対応トイレを検索サイト等に登録していく。



今後も学童保育の職員と設備の充実を求めている。

※3 用語解説

- ※3 オストメイト：オストメイトはストーマ（人工膀胱や人工肛門）を造設された方。

まちの賑わいを”日常化“せよ



なかむら 政友クラブ 中村 直人

Q 日常的に賑わう「まちづくり」には、「人づくり」が必須。役割を担ってきた世代と、若い担い手達が交流し、独立・自走できるまちづくり団体となるよう、信濃大町100人衆会議で取り組めないか。

A 今年は様々な人が思いを共有する、人と情報のかかわりを行う。まちづくり会社の設立に繋げる。

Q 違った立場、世代の人が交流し、終了後は飲みに出るぐらい楽しい場づくりをしてはどうか。

A 参加者同士が繋がり、また参加したいと思う会にする。

Q アーケード撤去後、日差しや雨を避けられるようどう整備するか。

A 休憩スポット等を計画する。



アーケード撤去後も日差し・雨避けの休憩スポット設置を計画

多様な教育を活かして

Q 学校に通える子どもたちと同様、通えない子どもたちの学びについても計画やビジョンが必要ではないか。

A 現在策定中の教育大綱の中に一つの柱として書き込む。

Q 担任の先生との相性が悪いと相談がしづらいと聞く。学年担任制を導入すべきではないか。

A 教科担任制を検討中。学年や学校全体での対応は必須との認識だ。

Q 非課税世帯等には、学外の学びを選択しても支援があるべきではないか。

A 不公平の無いよう検討する。



二次元バーコードから動画が見られます。



次ページは、常任委員会審査報告と意見交換会と討論

議案の審査と採決のながれ 本会議で議案の提案↓各常任委員会に付託（審査を任せる）↓委員会審査↓本会議で審査内容報告↓採決
採決前に、議案に対する賛否について討論で意見を述べる（ことができる）。

議員が質した9月定例会

こんなことが決まりました！

議案第52号
令和7年度大町市
一般会計補正予算（第4号）

■結果 全会一致で可決

ふるさと納税について

議案の概要
ふるさと応援団事業について

委員会審査

Q ふるさと納税の寄付額と返礼品の比率について説明を。

A 総務省の通知では、経費は寄付額の5割以内に収めるようにと指導されており、当市は49%程度に収めている。今後、事業者や中間管理事業者と調整し、総務省の通知の範囲内に収まるよう、常に調整していく。

議案第55号
令和7年度大町市水道事業会計補正予算（第1号）

■結果 賛成多数で可決

三日町配水池の建設について

議案の概要
三日町配水池建設を令和7年から令和10年までに9億円の限度内で建設する計画について

委員会審査

Q 三日町配水池の工事内容について説明を。

A 現在の配水池はそのまま残り、その横に新たに配水池を建設する。

Q この工事が、将来の水道料金にどのような影響を与えるか。

A シミュレーションを行ったが、今の料金を据え置いたまま運営できる見通しだ。



三日町配水池

議案第66号
工事請負契約の変更契約の締結の追認について

■結果 賛成多数で可決

サッカー場管理棟工事、変更契約追認

議案の概要
排水処理において、単独浄化槽への繋ぎこみができないことが判明し変更契約が必要に。自治法と条例において議決すべき案件が議会に上程されていなかったための追認。

委員会審査

Q 業者側でも調査の必要があったのでは。

A プロポーザル方式は市が示した仕様書に基づいて業者が設計書を作成する。仕様書提示後に繋ぎこみ不可が判明したため、市側の責任と考える。

Q 庁内で協議書を回覧するような体制ではないのか。

A 今回はチェック体制が働かなかった。

Q チェック体制を改善する仕組みが必要では。外部専門機関の派遣制度を活用するなどして、契約事務のチェック体制を見直す必要があると考える。

議案第49号

大町市体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について

原案に反対

今値上げは適切か
賃金水準が物価上昇分をカバーしきれない経済情勢下において、市民憩いの場の利用料金値上は不適切。（大和 幸久）

原案に賛成

負担のバランスを取る改定
受益団体等の活動継続に支障が無いように進める必要があるが、他の市民の負担軽減も考える必要がある。（中村 直人）

議案第66号

工事請負契約の変更契約の締結の追認について

原案に賛成

工期内の完了を
議会軽視での契約変更は猛省すべきだが、工事自体に過失はなく施設整備は工期内に終わらせる必要がある。（西澤 和保）

議案第67号

工事請負契約の変更契約の締結について

議案第68号

工事請負契約の変更契約の締結について

原案に反対
（66・67・68号）

競争環境のある入札に
公共事業契約において、官製談合事案が発生した。公共事業契約業務に対するチェック体制の再構築が必要。（宮田 一男）

原案に賛成

陸上競技場及びサッカー場管理棟変更契約については妥当
利用者目線に立った追加工事であり、変更経過の記録も確認して判断。（大竹 真千子）

地域の交通安全を推進

大町地区交通安全協会 市内6支部との意見交換会

令和7年9月16日（火）、大町市議会は大町地区交通安全協会市内6支部の方々と意見交換会を開催しました。出席者は、議会からは社会文教委員8名と傳刀議長、そして大町地区交通安全協会からは大町支部、平支部、八坂支部の方々と民生部市民課長です。伊藤弘大町支部長より「交通安全協会の沿革等について」の説明と「各支部の現状と課題について」のお話を聞きました。高齢化による慢性的な人材不足や自治会・企業からの協力の希薄化、役員等の高齢化により特に各種行事（王子大祭、やまびこまつり、竜神社祭典、アルプスマラソン、消防出初式など）の警備は体力面に不安を抱えている等、切実な意見が出されました。



交通安全協会との意見交換会

9月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのか、なぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。



令和7年 9月定例会 提出案件の審議結果

賛否が分かれた案件		議案・陳情の原案に対して「賛成は○」「反対は●」 議長は議事進行のため「賛成」「反対」の意思表示はしない																	
議案番号等	案 件	日本共産党	無所属クラブ	市民クラブ	政友クラブ				峻議会	公明	無	結 果							
		宮田 一男	栗林 陽一	大和 幸久	高橋 正	植松悠一郎	中牧 盛登	小澤 悟	山本みゆき	大竹真千子	中村 直人		西澤 和保	二條 孝夫	一本木秀章	傳刀 健	太田 昭司	堀 堅一	
議案第49号	大町市体育施設設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	議長	○	○	原案可決	
議案第50号	大町市立学校体育施設使用料徴収条例の一部を改正する条例制定について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第55号	令和7年度大町市水道事業会計補正予算（第1号）	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第57号	令和6年度大町市一般会計歳入歳出決算の認定について	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
議案第60号	令和6年度大町市水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
議案第61号	令和6年度大町市公営簡易水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
議案第63号	令和6年度大町市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	○	○	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	認定
議案第66号	工事請負契約の変更契約の締結の追認について	●	●	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第67号	工事請負契約の変更契約の締結について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○		○	○	○	原案可決
議案第68号	工事請負契約の変更契約の締結について	●	●	●	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決	
陳 情 5 号	高額療養費窓口負担引き上げの中止・撤回を求める意見書提出について	○	○	○	●	○	●	●	●	●	●	●	●	●	議長	●	●	不採択	
陳 情 6 号	2023年4月大町市庁舎での大町市課長級職員によるセクハラ事件について、被害職員に寄り添った対応がなされたか真相の究明と市長の責任を求める陳情	○	○	○	○	○	●	●	●	●	●	●	●	●		○	○	○	不採択
陳 情 7 号	北部小学校における通学バスの柔軟な利用許可を求める陳情	○	○	○	○	○	○	●	●	○	●	●	●	●		○	○	○	不採択

全会一致で承認・可決・認定された案件		
議案番号等	案 件	結 果
報告第14号	専決処分の報告について 専第23号 令和7年度大町市一般会計補正予算（第3号）	承 認
議案第46号	大町市基金条例の一部を改正する条例制定について	原 案 可 決
議案第47号	大町市水道給水条例の一部を改正する条例制定について	原 案 可 決
議案第48号	大町市公共下水道条例の一部を改正する条例制定について	原 案 可 決
議案第51号	大町市公民館条例の一部を改正する条例制定について	原 案 可 決
議案第52号	令和7年度大町市一般会計補正予算（第4号）	原 案 可 決
議案第53号	令和7年度大町市国民健康保険特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議案第54号	令和7年度大町市後期高齢者医療特別会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議案第56号	令和7年度大町市公営簡易水道事業会計補正予算（第1号）	原 案 可 決
議案第58号	令和6年度大町市国民健康保険特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第59号	令和6年度大町市後期高齢者医療特別会計歳入歳出決算の認定について	認 定
議案第62号	令和6年度大町市温泉引湯事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
議案第64号	令和6年度大町市農業集落排水事業会計剰余金の処分及び決算の認定について	認 定
議案第65号	令和6年度大町市病院事業会計決算の認定について	認 定

大町市議会臭気対策特別委員会から報告がありました

大町市議会臭気対策特別委員会は、令和5年6月27日に設置され、2年3か月の間で9回、委員会を開催しました。主な活動内容は、臭気対策に関する現状等の調査、堆肥製造施設の現地視察を行いました。現状、市内の臭気問題は一定の落ち着きを見せていることから、今後の臭気問題については常任委員会である社会文教委員会が担当することとし、特別委員会の調査・研究は終了したことを議会で報告しました。

9月定例会最終日討論の内容を要約してお伝えします

討論は議案等の採決の前に、なぜ反対なのか、なぜ賛成なのか、議員個人の意見を表明し、意見の異なる議員に賛同を求めるために行われます。



議案第57号

令和6年度大町市一般会計歳入歳出決算の認定について

原案に反対

国の補助金不採択の報告遅れ
3千万円追加負担を議会に示さず、市民信頼を損なう。（栗林 陽一）
牛越市政の行政運営ノ－
連続する不祥事は、長期にわたる市政運営の弊害であり、それを放置してきた市長の責任は重大。（宮田 一男）
官製談合事件に明け暮れた一年
照明のLED工事談合事件の究明は、大町市と利害関係のない専門家による第三者委員会を実施を。（大和 幸久）

原案に賛成

市の将来像に向けて着実な成果になった
市制施行70周年と芸術祭等大規模な事業が重なり、運営にはマンパワ－など課題もあった。（山本みゆき）
財政健全化維持
健全化判断比率は全て基準を満たし財政健全化は維持された。次世代に過大な負担を残さず行財政運営に努めたと評価する。（太田 昭司）

議案第61号

令和6年度大町市公営簡易水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

原案に反対

「PFAS混入」
原因究明を
発生原因を究明し、二度と混入が起らない方策を講じること。市民の健康保持が水道事業者の責務。（大和 幸久）

議案第63号

令和6年度大町市公共下水道事業会計剰余金の処分及び決算の認定について

原案に反対

経理の誤り正せ
利用料では公費で負担すべき未接続者分を使用者から徴収し、受益者負担金では資産価値の上昇分も徴収している。（大和 幸久）

陳情第5号

高額療養費窓口負担引き上げの中止・撤回を求める意見書提出について

原案に反対

制度の存続が危ぶまれる
負担の軽減のみで存続は不可能。いずれかの所得階層の負担増等、具体的な制度設計こそが国の責任。（中村 直人）

原案に賛成

高額療養費窓口負担引き上げの撤回を
高額療養費制度によつて、治療が続けられる。政府は、実施を見合わせたが、撤回はしていない。（宮田 一男）

陳情第6号

2023年4月大町市庁舎での大町市課長級職員によるセクハラ事件について、被害職員に寄り添った対応がなされたか真相の究明と市長の責任を求める陳情

原案に反対

百条委員会の設置は不要
陳情者は民事、刑事事件として告発する中で、2年半の思いに決着をつけるべきだと考える。（堀 堅一）
陳情の対象外である
プライバシーを害する恐れがあるものは議会のルールで「扱わないものとする」とあるため不採択とせざるを得ない。（西澤 和保）

原案に賛成

セクハラ再発防止へ被害者に寄り添い第三者検証で安心できる職場環境を。（栗林 陽一）
市長の誠実な対応を
市長は被害女性職員に対するモラル（精神的）ハラスメントの事実を認め、たうえで、解決に向け誠実に対応を。（大和 幸久）

陳情第7号

北部小学校における通学バスの柔軟な利用許可を求める陳情

原案に反対

スクールバス適用範囲を柔軟にすれば混乱を招く
不公平感もなく児童に配慮された内容になっている。（堀 堅一）

原案に賛成

通学バスの柔軟な運用は必要
市内のどこに居住していても、地域間格差なく義務教育を受ける権利を享受できる対応が重要。（宮田 一男）



議会活動にかける思い、漢字一文字！

西澤 和保



何事にも**和**を持って**和**やかに対応する。

傳刀 健



希望をつなぎ、明るい未来へ道を**進**めます。

一本木 秀章



農業は今分**岐**点。高齢化・後継者不足・耕作放棄地の増加を解消したい。

堀 堅一



厳正の心で、たとえ**厳**冬でも優しさと暖かさを市政に求め続けます。

太田 昭司



一人ひとりが「**華**」と咲き、彩り豊かな未来を創る。

中村 直人



素**直**に聞く。**直**ぐ動く。真**直**ぐ伝える。

大竹 真千子



新たな価値や仕組みを**創**造する力をもつ議員として邁進します。

植松 悠一郎



市民の側に立ち、**仁**をもって是々非々で市政改善。

栗林 陽一



共に考え、**共**に守り、**共**に未来を創る。

宮田 一男



様々な意見や思いを尊重し、市**民**目線で働きます。

小澤 悟



おおまちへの深い**愛**が、行動の原動力です。

中牧 盛登



ひたすら**足**を運んで現場をつかんできた。**足**は議員活動の原点だ。

山本 みゆき



水の持つ柔軟性と岩を貫き通す**水**の強さを持って大町市の発展に貢献したい。

二條 孝夫



そこに止まることなく、少しでも前に進め何事にも**挑**み続ける。

高橋 正



議会は激突する。だが、事が決まれば**笑**面々がいい。

大和 幸久



市政の検証で、市民に「**真**実」を知らせ、**真**の民主主義定着を図る。

請願・陳情の提出期限変更のお知らせ

請願・陳情の提出期限は、定例会招集日の前10日（閉庁日にあたる場合は、前開庁日）までに変更となりました。

令和7年12月定例会における提出期限

提出期限は、11月21日（金）17時15分です。期限後に受理した請願・陳情は次の定例会での審査となりますのでご了承ください。

あとがき

市民の皆さまに身近で分かりやすい議会情報をお届けできるよう努めました。ご意見・ご感想をぜひお寄せください。
(一本木秀章)

次回12月定例会予定

- 開 会 12月2日(火)午前10時～
- 一般質問 12月10日(水)～12月12日(金)
- 最 終 日 12月23日(木)午前10時～ 討論・採決

議会の傍聴を

○傍聴をご希望の方は議会棟2階の議会事務局で申込書をご記入ください。

インターネットと市ケーブルテレビで放送しています。録画・再放送もご覧いただけます。

🔍 大町市議会 議会中継



議会だより編集委員【委員長】 小澤悟 【副委員長】 栗林陽一

【委 員】 一本木秀章 太田昭司 中村直人 大竹真千子 植松悠一郎 大和幸久

